

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月25日更新

事務事業名		大池地区雨水対策事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	米澤俊一
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	中村房昭
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	管理計画班	(内線)	2272
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 2	事業連番 11355	法令根拠	成果優先度評価結果	⑫
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	本地域は、近年上流地域の開発が進んだことと、集中的な雨が多数発生し水路の容量が不足しており、曲がりの部分で流れが滞り水路から溢れて民地や農地に被害を及ぼしているため、流末のため池を浚渫し併せて水路の流れを円滑にして被害を解消する。本地域は上流地域からの雨水の流末であり、近年上流地域の開発が進んだことと、集中的な雨が多数発生し水路の容量が不足している。また水路の系統が円滑ではなく、曲がりの部分で流れが滞り水路から溢れて民地や農地に被害を及ぼしているため、流末のため池を浚渫し併せて水路の流れを円滑にして被害を解消したい。ため池の浚渫及び水路の系統を変更することにより流れがスムーズになり被害を防ぐことが出来る。
【業務の流れ】	測量・設計委託→用地取得→排水路工事
【主な予算費目】	測量・設計委託・公有財産購入費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	水路沿線の住民及び区から被害の解消を強く望まれている。

1 現状把握の部分(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	測量設計・用地買収	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 用地交渉・用地買収
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) m	予算の主な増減の理由 → ア 整備延長 イ 相続できないための減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	調整池・排水路	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 整備延長 m イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	調整池の機能回復・雨水排水路を円滑な流れにする。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 施工延長 m イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 大池地区の浸水対策として、早期に対応する必要がある。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア m		0	70	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア m		0	70	0	0	0	0	0
③ 成果指標	ア m		0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源		千円		2,782	7,000	500	1,500	1,500
	(A) 事業費計		千円	0	2,782	7,000	0	500	1,500
	(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数		人	0	2	0	1	0	0
延べ業務時間		時間	0	115	0	10	0	0	
(B) 人件費計		千円	0	457	0	41	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,239	7,000	41	500	1,500	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	大池地区雨水対策事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 地区からの要望事項であったが、用地取得が困難であった。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施工することにより民地などへの雨水の被害を防ぐことができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他の手段等も検討し、一部地積上の水路を活用して用地費の削減を図っているため削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小人数で行うため人員の削減は出来ない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民の安全を確保するもので、偏りは無い。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共的な排水路整備のため、市の責務である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						